



第46號

発行所 愛知縣額田郡幸田町中央公民館
印刷所 岡崎活版所



幸田町 町長
公民館長

本 多 伴 吉

年頭のことば

こゝに御題「林」を思わせる平和な静けさのうちにめでたく昭和二十九年の新春を迎え、皆さまと共に心から御慶び申し上げます。

年々歳々、元旦を迎える度に、若水に身を淨め、初日の出を拝み祝儀に向う時、誰しも生ける喜びを感謝し、今年こそはと希わぬもしいはなひでしよう。日月悠久の流れに一区切をつけ、心静かに過ぐる年を省み、新しい希望に輝く胸ふくらませて新たな行路につまじしい第一歩を踏み出す気持は、幾度迎えて送る新年の感懐ながら、常に晴れがましく心すがしいものであります。

かえりみますれば、東海道線電化を機に、表玄関幸田駅舎を全国稀に見る明朗清楚なモデル民衆駅として改築し、懸案の町営住宅も建設の緒につき、数十年來の凶作に加えて台風十三号の痛手を蒙りながらも率先、旧年内に早くも供米を完遂し、「額田の穀倉」としての賞録を見せ日々、生活改善に、公民館活動に県内外より多数の視察者を迎え、菊薫る文化の日

はからずも全国優良公民館として文部大臣表彰の光榮に浴しましたことは偏えに一万四千こぞつての愛町信念の発露と、当事者の営々として携まざる努力の結晶であることを証明し、転た欣喜に堪えず、衷心感謝の意を表します。

本年は、この目ざましい歩みに一歩進めて、先ず、聖地鍛冶山に招魂社を移し抵げ、殉国の英靈に至誠を捧げ奉り、三百遺族を慰め申し上げ愈々新生活運動の一環として図書館を新築し、以て心の改善の中心拠点をつくり、待望の深溝駅設置の促進等々、幾多の課題山積のうちに、わけても国家の要請と地方自治の強化に則り、衆望に応えて隣村豊坂を併せ、生活の安定と、福祉の増進を目指す大幸田町進展の基盤を確保し、名実共に県下に誇る近代的、文化的感觸の香り豊かな理想郷としての面目を一新し、御期待の万に副い、「有終の美」を納めたいと存じます。しかしながら、平和を叫ばれつゝも、内外諸情勢は今尙混沌して、やゝもすれば明日の光も見失いがちな今日此の頃、馬蹄は重ねても常に若さと夢を失わず、国は貧しくとも心豊かに、道険しくとも踏み越え、踏み越え進む決意をゆるがせにせず、戦後九年の苦しい体験を生かして、独立第三年甲午の今年こそ「天馬空をかけ廻る」すばらしい町政最良の年を顕現しますよう、一層の御協力と御支援を冀つてやみません。

終りに、各位の御健康と御多幸をお祈り申し上げると共に、洋々たる本町の榮ある前途を祝福し、尊い使命の達成を念願して年頭のことばといたします。

基本選挙人名簿登載者数

(S28.12.20日確定)

投票区	字名	登載人員		計
		男	女	
第 1	長久保 嶺田崎 坂	88	104	192
		99	102	201
		355	381	736
		542	587	1,129
第 2	大高 草力	374	435	809
		147	162	309
		521	597	1,118
第 3	新東 田部田 鷲	55	52	107
		83	87	170
		164	170	334
		302	309	611
第 4	幸芦 田谷 菰	227	272	499
		212	276	488
		167	185	352
		606	733	1,339
第 5	市海 場谷 里	291	311	602
		135	166	301
		238	246	484
		664	723	1,387
第 6	横岩 落堀 三 菱	42	37	79
		367	405	772
		160	647	807
		569	1,089	1,658
合計		3,204	4,038	7,242

「町村合併のしおり」より

総務課

「町村の適正規模」について

謹んで新年のお慶びを申し上げます
前月号で「町村合併とは」「町村合併の必要なわけ」について大略致しましたが、次に「町村の適正規模」について記してみます。

町村の規模—町村合併促進法第三条第一項に「町村はおおむね、八千人以上の住民を有するものを標準とし、地勢人口密度、経済事情その他の事情に照らし、行政効率を最も高くし、住民の福祉を増進するように、その規模をできる限り増大し、これによつてその適正化を図るよう相互に協力しなければならぬ」とあります。

人口については、法で「八千人以上」と明らかにしておりますが、面積は大抵「三十平方軒」といわれっております。

合併？ 巷間の話題となつております本町と豊坂村との人口及び面積について記しましょう(十月末日調)

幸田町 一三六二〇人 三六・八八平方軒 二二・七世帯
豊坂村 三七二〇人 二〇平方軒 六三七世帯
人口「八千人」面積三十平方軒という数字は、島嶼的な村とか、山村のような特殊な町村を除いた一般的

な町村についての、適正といふか、標準的—必要とされる最小単位—な規模を示す数字ではありませんが、今後の町村合併の「一つの目安」となつてゐるわけです。

幸田町は、この「目安」以上でありませんが、隣村の豊坂村は、この「目安」以下ですから合併町村の対照とされる村といえます。

「町村住民の心構え」について
私達はもう一度、時代を直視してみましよう。

民主主義という言葉は、もう耳にたがはるほど聞いていると思ひますが、それは、個人の目覚め、自己を確立するという近代精神から発したもので、町村行政でいへば、近代国家のわくの中で、合理的な町村住民自らの手統で確立する—真の地方自治を育てることになりま

私達お互いが、そして時代そのものが、地方自治の確立—町村の発展を要請しているとすれば、私達は進んで、現在住んでいる私達の町村の実情を知るべきではないでしょうか。そして、現在のまゝでは果して、お互の幸福が増進されていくのか。周隣の町村との関係はどうなつていくのか。適正な規模としては、どのよ

うなものかを考えるべきか。どこかと合併する必要があるのではないか。

そのためにはどうすべきか等々、町村住民として将来の力ある町村を画き、その実現を図る必要があるのではないのでしょうか。

そうした場合、町村の将来について、何を中心に、何を重点的にもつてゆくべきか。即ち、農業を中心とするか、商工業にするか等々、その基本となるべき方針を立てる必要もあると思ひます。

ところで合併をしようという場合には、どのような点に注意を払うべきでしょうか。

まず第一に地形を考えるべきでしょう。比較的似通つた、地形につながりのある町村は、合併がし易いといふことができましよう。

ところが、次に若しいろいろの条件が、合併すべき状態におかれているとしても、大部分の人の心の中に住んでゐる保守性—現状を愛するこゝとに不安を抱く心がこの町村合併をばばんでしまふのではないかと、いふことか考えられます。この障害は、

お互いが打破つて、より大きな目から建設的な方向へ進めなければ、町村の発展、住民の幸福などとも望めないことになつてしまふでしょう。合併促進については、住民お互いが、冷静に謙虚にこの問題を考え速かに町村合併についての強い信念と深い熱意を抱くべきではないでしよ

うか。再び繰り返しますと、町村合併は、時代の要請であるということですから。このような時代の要請から、国は、前月号で述べたような「町村合併促進法」という法律を制定し、この促進を図つてゐるわけです。

これは「町村合併」ということが、町村自体の問題であるとともに、国の行政区劃としての、市町村(統治組織の一番の基礎)がどうあるべきかということ、国と県と市町村が、それ／＼どのような事務を扱うべきであるかという「行政事務の再配分」という問題にも関連してゐるために、速かに全国的な、町村合併を促進する必要があるためであります。

これは「町村合併」を速に行つて、次の制度改革に備えようと思ひているからに外ありません。

むすび

国では更に、地方制度全般(税制)の改革、行政事務の再配分等々)について改革を実施しようとして、各種の機關をして研究してゐます。すでに過日の新聞に一部の改革試案の大綱が発表されて御承知のことと思ひます。

巷間の話題？ 豊坂村との合併について？ 十月二十六日両町村の議員が幸田町役場に於いて懇談協議されましたが、巷間の話題の域を越えることはできませんでした。当然のことです。「合併」これは両町村民—

皆さんの意志によつて決定されるも
のです。

この場合、豊坂村の皆さんが、幸
田町と合併したいと、意志表示があ
つたとき、町民の皆さんが、この豊
坂村の申入れを受入れるかどうかで
「合併」の問題が方向づけられるも
のです。又逆に幸田町より豊坂村に
合併をお願いする場合—現在の段階
ではこれは考えられないことだと思
います。

いよいよ皆さんの意志によつて、
岡町村が「合併の方向」に歩みを進
めたときは、法に基く種々な事務的
な問題(調査研究計画)を経て「合
併」が決定されます。

いずれにしても「町村合併」につ
いての、一般的な研究の時期も過ぎ
法的な措置も一応終つたようです。
即ち町村住民の賢明な将来の見透し
に基く奮起を待つばかりになつた
のではないのでしょうか。

理論ではない、実践の段階に入つ
たのです。
私達住民は、因習と伝統という古
い殻を打破つて、広い大きな気持と
、将来に対する確固たる信念をもつ
て、希望に満ちた新しい町村の建設
に向い、積極的な努力を払うべき必
要に迫られています。

(完)

どつと生まれる

新しい市

新年を迎えて、どつと新しい市
が生まれます。

幡豆郡の西尾町が平坂町の一部を
併せて昨年十二月十五日、全国で二
百八十七番目、愛知県で十四番目の
(人口三六三四八八)西尾市として
生まれましたが、今年には六十もの市
がふえて、全国で三百四、五十にな
るだろうといわれています。

このようにたくさん市の市ができる
のは自治庁が中心になつて、全国の
市町村をできるだけ併せて、大きな
自治体を作ろうとしているからで、
近くの町村を一しよに合せて市にす
ると、今まで果てやつていた仕事の
うち、保健衛生や、社会福祉の仕事
は、市でひきうけることになり、そ
のかわり国からそれにお金があつた
たされるようになるのです。

- 四月頃までに市になることがはつ
きりしているのは次の通り、
- 岩手県 水沢、花巻、黒沢尻
 - 茨城県 石岡、下館
 - 埼玉県 飯能、榑木、日光
 - 富山県 滑川、桜井
 - 福井県 大野、滋賀、八幡
 - 長野県 須坂、小諸
 - 兵庫県 高砂、奈良、大和郡山
 - 鳥根県 石見、大田

広島県 府中、三次、船越
岡山県 備前、高知、一条
佐賀県 伊万里、長崎、福江
熊本県 本渡

この他、宮城県白石、京都府宮津
愛知県蒲郡、三谷など年内には市に
なるだろうといわれています。



やさしい
養鶏の栞
玉子

コケッココー。
明けましてお芽出度うございます
。本年も大いに張り切つて、強健な
鶏を増殖して、立派なすかれるよい
卵を増産しましょう。

客年十二月二十一、二日の町の農
産物品評会に、皆様から御出品なさ
つた卵の、優秀なのが沢山有りました
(玉子)も大いに意を強うしまし
た。

審査長殿の審査報告の中に、卵は
鮮度が生命である。新らしくて奇麗
で内容の充実した、商品価値の高い
物をとの要望があつた様に承りまし
た。卵はかつて本欄で申述べたよう
に、卵殻の表面にゼラチン質の膜が
ついて居りまして、卵殻を被覆して
居り此のゼラチン質の膜には、卵殻
に於けるより尙一層極めて小さい、

直径〇、〇三八乃至〇、〇五四ミリ
メートルを有する処の、気孔が無数
に存在して居るもので、之等の小孔
は互に密接して居るため、外観より
する時は表面は全く一様に見える。
然し此の被膜は、水湿や極めて稀薄
な酸類に会うと忽ち膨脹し変化する
ものである。斯の如き性質を有す
る被膜である故に、常圧に於ても能
く液体なり臭気なりを通過せしむる
ものである。又適度な湿度と温度と
がある場合糸状菌の如きは新鮮卵と
雖もよく侵入し得るものである事を
御承知いたゞいて、取扱にも万全の
御気付きが願いたい。水洗い其他に
よつて、此の被膜を損傷することに
依つて一層鮮度を低下することを銘
記して願いたいものである。品評会
の出品卵を観覽させて貰つて大部分
は卵自然の美を持つた優れた粒揃い
に見受けましたが、中にはほんの一部
水洗いされた物を散見致しました。
汚れを除くための止むを得ない手段
ではあつたでしょうが、斯うした卵
を視詰して市場へ送り出され、旬日
余の後に消費者の手に渡ることを想
う時、品質を低下し、腐敗の誘因と
もなる水洗いはしないで他の方法を取
らるゝように重ねて強調すると共に
、今一歩進んで汚さない事に工夫が
肝要と思ひます。



新年を迎えて

愛知県知事 桑原幹根

三百五十万県民の皆様と共にめでたく昭和二十九年の新春を迎え、誠に御同慶の至りであります。

講和独立以来二年余、私どもは祖国の復興と将来の発展を念願して必死の努力を続けて参りましたが、なすべき仕事はまだ多く、果しては何よりもまず県財政の確立を図ることが第一であります。昨年不幸にして台風十三号により、県財政は一大支障にぶつかつたのですが、私としましては災害発生以来、県のあらゆる機能を動員し、各方面の御協力を得て対中央工作に、応急復旧工事の完成に、あるいは被災者の救援に全力を注いで参つた結果、幸いにして明るい見通しをもち得る段階

に到りました。

今年は何よりも先ずこの大被害の復旧改良に全力をあげ、再び次の台風期にあのような被害を招くことのないようにしたいと考えています。この際県政全般に渡つて厳しい反省を加え、重点施策として、総合開発事業の促進、農耕地の改良食糧増産対策、社会福祉対策、中小企業の健全なる育成、勤労者の福祉施設の改善、教育文化の向上などに努める考えて、新春を迎えるに際し県民の皆様のお多幸をお祈りして年頭の言葉と致します。



年頭の御挨拶

愛知県会議員 山本住次郎

輝やかしい昭和二十九年の新春を迎えるに当り、謹んで皆さまの御健康をお祝い申し上げます。本年は甲午でありますから、この

午をして甲の午、名馬たらしめる年でありたいと念じます。

しかし、いかなる駿馬も騎士の私達がうまく乗りこなさなければ駄馬に等しく、あたらその真価を發揮出来ません。今年こそ私も郷土の皆さまと共に名騎士として、縦横無尽に天馬を駆使して輝しい成果をあげたいと念願してやみません。

県政においても重要事項が山積しておりますから、皆様の御協力、御後援の下に解決を図り、最善を尽して郷土の発展に微力を致したいとの覚悟を新たに致しております。

供米完納謝礼電報

「キョウマイカンスイノ
ゴロウクフシヤス」
ヌカタチホウジ ムシ
ヨチヨウ

二十八年十二月十四日

午後一時着

コウダチヨウチヨウドノ

新年を迎えて

幸田町養蚕農協同組合長 墨江 貞治

講和成立第三年の新春を迎えるに当り一言御祝詞を申し上げます。我々は改年と共に生活感情を一新して更に今後の生活へ邁進する覚悟を新たにするのであります。

元旦に際して昨年の暮し方を反省し、今年何を実行するかを計画し実現の第一歩を踏み出すこれが新年祝日としての意義であります。

昨年は、農家として豊年とは申し上げられませんが、強く要請されていたがその望みは水泡に帰しました。鳴物入りで宣伝された繭増産も、春は凍霜害、夏は雨続き、晩秋蚕は台風十三号に見まれ遂に凶作という忌まわしい名残を告げました。

今年こそは午年、大いにかんばりウマイ成果をあげましょう。古語に年々歳々花相同じ云々とありますが徒らに年改まれど事柄は一向に改まらず昔ながらの相似た問題を蒸し返し詮議立て研究検討が重ねられる事であるが、この弊を一挙に打破して肥培管理に飼育改善に努力し大いに外貨獲得にはりきりしましょう。

聊か感想をのべて新年の御祝詞にいたしたいと思います。

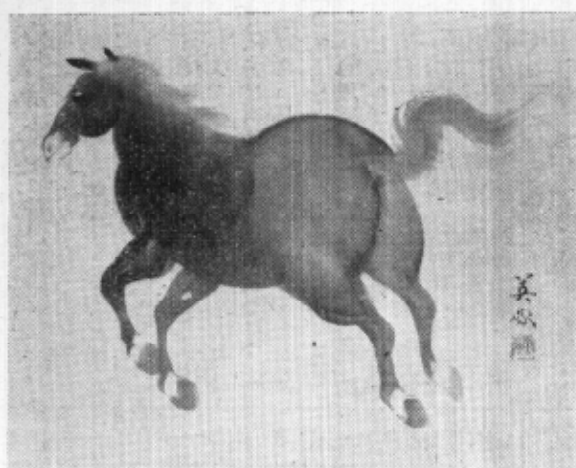


午の話

砂楼生

「たまきはる宇智の大野に馬並めて朝踏ますらむその草深野」万葉に現われたすがすがしい馬の姿。

○お馬の親子は仲よしこよしいつでも一しよにポツクリポツクリあるく。○お馬のかあさん優しいかあさん仔馬を見ながらポツクリポツクリあるく。



美心池

筆 伯 画 鳳 英

- 1 白駒過隙(日月の速いこと)
 - 2 馬家の五常(兄弟皆才名高い事)
 - 3 馬耳東風(人の教え耳に入らず)
 - 4 馬の耳に念仏(同)
- (人の言う事を心に)

童謡に歌われた母性愛に富む和やかな風景。これを句にすれば
○親馬の振る尾がくれの仔馬かな。
○木隠れに親隠れゆく仔馬かな。
○仔馬駆け親馬これを迎え駆け。で思わず秋田弁で「めんこい」と呼びたくなる。

馬は麦と共に中央アジアの辺に生まれ、馬は東廻り、麦は西廻りで地球上に拡がつたそうだ。南米大陸には十六世紀の初めまで馬はいなかつたのが、一五三三年スペインのピサロが乗馬隊でインカ帝国に攻め入り、インカの文化人は人馬諸共の怪物の姿を見て「火星人」でも来たかと驚いて滅亡した。今年MSAの麦が西廻りで日本にもくる筈。

とめぬ

- 5 馬舞の災(火災にかゝつたこと)
- 6 竹馬の友(幼な友だち)
- 7 長鞭馬腹に及ばず(物足りん)
- 8 馬疲れて毛長し(人貧苦すれば智恵が短くなる)
- 9 馬に道任す(老成者の言を用う)
- 10 馬には騎つて見よ(人を相するのと難きをいう)
- 11 馬の如し(物の大きいこと)
- 12 馬に倚つて待つべし(人の文を作るに速きをいう)
- 13 犬馬の年(卑賤に従うこと)
- 14 犬馬の養(不敬の罪)
- 15 人間万事塞翁馬(人世の禍福常なきをいう)
- 16 疲馬は鞭を畏れず(小人貧苦の時は法律を畏れざるをいう)
- 17 人喰馬にも合口(無頼人でも意気投合するものあるをいう)
- 18 馬脚を現わす(化の皮が――)
- 19 馬の角(空約束、空手形)
- 20 牛飲馬食(大食い)
- 21 馬鹿(とろいこと)
- 22 午砲(うそつき)
- 23 犬馬の勞(骨を惜しまぬ)
- 24 馬子にも衣裳(服装の必要)
- 25 馬鹿と鉄は使ひよう(適所適材の妙味)

- 26 馬は馬連れ(不釣合を戒む)
- 27 馬鹿の一つ覚え(一事を繰返す)
- 28 馬車馬(傍目もふらず一筋に)
- 29 馬鹿につける葉なし(愚者の無計画怖るべきこと)

まだまだかけば限りがないから年の数だけに止める。
さて今年午年、馬のお話をしたわけですが、十二支の中でも馬は人間生活には昔から親しまれ、可愛がられている動物で、軍国調花やかなりし時世には、将、馬、兵など人以上に賞ばれたことさえある。

一つ馬齢を重ねた我々は、大いに心の駒に馬力をかけて、駿馬のいななきも高く朗かに天馬の空を馳せるよう地域社会のためにがんばりましょう。

と き 二月七日

と ころ 幸田町中央公民館

一首かるた会

(標準かるたを使用の予定)

皆さまの御参加をまつています。

招魂社寄附金

趣意書

新日本建設のためには、先ず平和の維持こそ絶対に必要であります。旅は道連れ世は情、義理人情欠いてはすまぬ。講和成立によつて、太陽は再び英靈に報いられるときが参りました。時の流れとはいへ、そのかみ砲声般々耳を聳し、銃身も灼けよとばかり乱れうつ機関銃の霰、雨と落下する爆弾、礫ととびくる手榴弾、さては肉弾相うつ白兵戦等々、これに玉碎するを人類至高の名誉として一線部隊も後方勤務者も一億一丸火の玉となつて労苦辛苦に堪え、奮斗中不幸にして国に殉ぜられた英霊に対し奉り、深甚の感謝を捧げると共に我々の日常生活を鼓舞叱咤されることの多きを猛省せねばなりません。

この度各部落主事各位の発起により幸田町招魂社を、芦谷の聖地鍛冶山に移転拡充の運びとなりましたことは誠に感謝感激を禁じ能わざるものであります。

此の機会に心ある同志の協賛を得て、招魂社前に元軍人一同として、常夜灯を献納したいと存じますので御協力下さいますようお願い申し上げます。

昭和二十八年十二月八日

發起人

幸田町招魂社常夜灯寄附金 元軍人一同

部落名	人員	金額	部落名	人員	金額
◎長嶺	41	4.100	◎萩	71	7.550
◎久保田	31	3.100	入東	8	800
◎坂崎	137	13.850	下中	7	800
一組	24	2.400	西荒	7	700
二組	8	800	研小	6	600
三組	15	1.500	西東	6	600
四組	17	1.900	下中	14	1.350
五組	14	1.350	中	14	1.400
六組	12	1.200	◎芦谷	72	7.300
七組	23	2.300	中	16	1.600
八組	13	1.300	東	18	1.700
九組	6	600	北	14	1.600
十組	5	500	南	12	1.200
◎大草	133	17.500	西	12	1.200
山前	14	1.400	◎幸田	69	8.150
寺田	10	1.100	一組	13	1.750
上	10	1.000	二組	9	1.200
大仲	13	1.300	三組	6	1.100
東	12	1.300	四組	10	1.000
羽根	10	1.350	町	16	1.600
西	16	1.650	錦	15	1.500
本	18	2.900	◎里	89	8.900
四	11	2.600	折ヶ	11	1.100
甲	19	2.900	谷	13	1.300
乙			曲	18	1.800
◎高力	53	5.250	山	14	1.400
東	23	2.300	里	20	2.000
中	13	1.300	東	13	1.300
西	17	1.650	◎彦谷	53	5.700
◎鷺田	102	10.300	中	16	1.600
北	13	1.300	下	10	1.000
東	29	2.900	中	16	1.900
中	9	900	上	11	1.200
西	22	2.300	◎市場	87	8.700
東	29	2.900	西	6	600
◎新田	29	2.980	深	4	500
◎岩堀	136	13.650	山	8	750
北	19	1.950	時	12	1.100
西	10	1.000	市	9	900
西	12	1.200	の	9	900
大	11	1.100	瀨	9	900
山	11	1.100	野	15	1.550
山	7	700	向	9	900
山	23	2.300	道	9	900
前	8	800	神	15	1.550
中	11	1.100	場	9	900
小	10	1.000	山	15	1.500
山	14	1.400	◎横落	12	1.200
◎横落	12	1.200			
合 計	1,115	118,230			

備考 1.本表は12月31日現在受付分にして此の外三菱区より御寄附の有る予定。
2.寄附金々額を以て幸田町招魂社建設委員会に於て元軍人一同として社前へ常夜灯 120,000円を建立せられました。

◆日本一の

長生き村

日本一の長生き村が発見されました。広島県御調郡立花村で、尾道市から近い瀬戸内海の暖い島です。

七十才以上が全人口の9%で、今まで日本一といわれた島根県知夫郡黒木村の八・五%をこしました。

村人たちは米ばかりたべないで、麦やいも、魚か大豆、南瓜、人蔘をたべているそうです。

◆日本一の

小さい村が?

日本一最小村として有名な神奈川県芦ノ湯村が姿を消し、元日から箱根町に合併して生れ変わった。

芦ノ湯村は箱根七湯の一つ、面積二平方軒足らず、戸数二十戸、人口僅か一四〇人で明治以来あまり小村なので村会などは持たず、有権者が全員集つて村総会を開き、村政を進めるといふ珍らしい直接民主制をとつていたが、新憲法実施後、女にも参政権が与えられ、施設業を主としていた関係上女が多く、総会を開くと女中総会になり、女が村政を牛耳る結果を招くことになつたので、あわてて男達が村会を創設し、実権の確保を図つたといふ曰くを持つていた村です。

幸田町「二十八年」の

五大ニュースを

記名で御投票下さい。

戸毎に国旗をたてましょう

成人三一三人(男一九四
女二一九)

○成人の日 一月十五日

おとなになつたことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝ひはげます。

増産百語

天命十訓(一)

天命当時富貴なり。富貴なれば富貴なるところ、即ち天性自然なり。天性自然の富貴に従つて、天を頂き身を慎み、礼法を犯さず、分度を守りて、驕奢弊風に流れず。又は衣服、飲食、居住に至るまで、万端手軽といひし、貧賤を思む。これを道という。この富貴の道は暫くも離るべからず。離る時は富貴の道に非ず。富貴の道を務めずして富貴の所行に怠れば、果して富貴の道にそむく。富貴の道にそむけば、富貴を守ること能わず。富貴を守ること能わずして、後悔せざるものは社会に少し。(二宮尊徳翁の言葉)

人口動態(11月分)

出生	13	{男 9 女 4}	累計	134
死亡	13	{男 7 女 6}		106
死産	0			50
婚姻	9			6
離婚	0			86
				9

就学のおしらせ

本年四月一日就学の始期に達して小学校へ入学するのは、昭和二十二年四月二日生まれから、昭和二十三年四月一日生まれまで、病氣その他で就学の猶予や免除を望む方は、教育委員会事務局へ御相談下さい。

成人健康調査成績表 三八三、二

種別	男子	女子
該当者	九四名	三九名
受検人員	六三	六〇
受検率	六七・四%	一六・七%
身長平均	一六〇・〇cm	一四九・〇cm
体重平均	五五・五kg	四八・八kg
胸囲平均	八二・〇cm	八〇・〇cm
握力平均右	五・〇kg	三・八kg
握力平均左	五・八kg	三・四kg
近視	六名	九名
皮膚疾患	一	一
色盲	一	一
ツベルクリ	一	一
陰性	一	一
陽性	一	一
梅毒検査	一	一

全国及郡部の成人身長体重平均表

全国	郡部
男子身長 一六二・四cm	男子身長 一六〇・八cm
女子身長 一五二・六cm	女子身長 一五二・三cm
男子体重 五九・〇kg	男子体重 五五・六kg
女子体重 四九・七kg	女子体重 四九・四kg

天皇陛下の御歌

天皇陛下は新しい年の始めに当り過ぎさつた一年間をかえり見られ最も印象的なお歌を発表された。

○すこやかに空の船より日のみこのおりたつ姿テレビにて見し

○荒れし国の人らも今はたのもしくたちなほらむといそしみてをり

○池の辺のそぞろあるきに娘らとかたるゆふべは楽しかりけり

○嵐ふきて突らぬ稲穂あはれにて秋の田見ればうれい深しも

賀正 (新年言志) 又郎

○新玉の心の花の匂やかに幸田をおこす力つちかう

○仰せ言かしてみ生ける喜びを公民館のまどいにかたる

○豊かなる希望を胸に美しき文化の泉和みつゝくむ

政界百人一首抄

音羽院 一郎

大臣になる野の道の遠ければまだ片足のしびれのこれる

大納言 臣茂

我の人氣はうつりけりないたすらに馬よ鹿よとわめきせし間に

放言院 勇人
死ぬ人もいたしかたなしエチケツト
貧乏人は麦食えよかし

俳句

新年句会報

萩分館



雨ありて山合の麦色せまり 青峯

初詣で玉砂利の音の暗きかな 〃

新聞読む額に冬日ぬくみあり 〃

冬晴へジェット機雲を残しゆく幸百 〃

万才の後つけて来る子供かな 〃

足裏に響き来るなり凍る土 〃

言の葉の何か明るき年始め 草月

松飾り注連に明るき大社哉 〃

松の内交礼の人町を織る 〃

初日さす遠望嶺の山の松青く 隆句

年賀客一踏となりて歌留多とる 〃

元日や墓地に来たりて父浮ぶ 〃

灯に近き年賀の客の白き肌 雲嶺

湯のたぎる音耳にあり賀状読む 〃

白足袋の縁にうつれり初詣 〃

大年の夜を発ちてゆく終車の笛萩雨 〃

裸灯に影大いなる飾り樹袋 〃

風に葉賑ひしと寄り合へり 〃

狂俳 新年卷 三章

○岩瀬可笑先生選
人 僻地—文化吸ふアンテナ高い 紫水

地 べつたり—愛の極致にとろけ 湖東

天 別天地—梅籬して詩聖老ふ 鬼童

○清涼園美篁先生選
人 平等—町行政に依信見せぬ 香花

地 下手—拗ね過ぎてバトロロン逃がす 倚川

天 平和な春—君安らかに民謳う 海月

○胡蝶園一夢先生選
人 べつたり—吉田と鳩が一致せる 晴月

地 下手—葱背負つて来た鴨逃がす 鬼童

天 平和な春—賀状へさんと初日照る 良月

○小林良月先生選
人 平等—町行政に依信見せぬ 香花

地 平等—弱き女として置かね 弄月

天 別天地—梅籬して詩聖老ふ 鬼童

○草次草月先生選
人 僻地—雪に埋れて五戸眠むる 紫水

地 別天地—梅籬して詩聖老ふ 鬼童

天 平和な春—安らかに民草謳ふ 良月

○見晴亭香花先生選
人 平気—吹える野党に耳貸さぬ 峯月

地 べつたり—化七塗つて町へ出る 草月

天 別天地—梅籬して詩聖老ふ 鬼童

○墨江海月先生選
人 平気—吹える野党に耳貸さぬ 峯月

地 べつたり—穀かくす御化粧厚い 京山

天 平和な春—四海洽ぬく風波風々 草月

○梅山居燕先生選
人 平気—ワンマン然と椅子退かぬ 海月

地 べつたり—千代を契りの吼合わす 香花

天 平和な春—明朗な顔術を織る 倚川

○辻村紅葉先生選
人 平等—弱き女として置かね 弄月

地 屁茶—鈍農の内助で活きる 鬼童

天 別天地—梅籬して詩聖老ふ 鬼童

○桑天境楓山先生選
人 平気—大磯で葉巻をふかす 幸百

地 下手—すね過ぎてバトロロン逃がす 倚川

天 別天地—富士背負う熱海梅早い 香花

○中村京山先生選
人 平等—新憲法の意義ふかい 〃

天 平和な春—民安らかに大地笑む